

令和6年度 被覆肥料の被膜殻流出防止対策実証は実績

令和7年3月

岡山県農林水産部農産課

品種 早晩性	市町村	普及	品種	施肥方法	実証区	精玄米重 (指数)	対照区 精玄米重 (kg/10a)	備考
早生	高梁市	備北広域	コシヒカリ	全層	鶏ふん＋追肥N2.5	100	578	
			ヒメノモチ	側条	硫黄被覆	111	464	
	新見市	新見	コシヒカリ	側条	UF入り化成	98		
	新庄村	真庭	ヒメノモチ	側条	UF入り化成	108	436	
中生	倉敷市	備南広域	にこまる	側条	硫黄被覆	90	506	
					硝酸化成抑制剤入り化学緩効性	92		
					硫黄被覆＋追肥N2	115		
	矢掛町	井笠	ヒノヒカリ	側条	硫黄被覆＋追肥N3.8	102	610	
				全層	鶏ふん＋追肥N3.8	96		
	津山市	美作広域	きぬむすめ	側条	粒状UF入りBB	85	626	穂肥追肥（全区）
					硫黄被覆	88		
	鏡野町	美作広域	きぬむすめ	全層	緑肥＋追肥N2	87	610	
晩生	倉敷市	備南広域	アケボノ	全層	緑肥①	－	－	対照なし
					緑肥②＋鶏ふん	－		
	赤磐市	農業研究所	アケボノ	ペースト二段	ペースト①	100	619	2段ペースト施肥機を用いて、ペースト肥料の施肥位置及び追肥の量について検討
					ペースト②	95		
					ペースト③	89		
					ペースト①＋追肥N2	94		
					ペースト①＋追肥N4	99		
					ペースト②＋追肥N2	98		
	赤磐市	農業研究所	アケボノ	全層	ペースト③＋追肥N2	99		
					硫黄被覆	83	695	穂肥の量や時期について検討
					硫黄被覆＋追肥N2（施肥日①）	89		
					硫黄被覆＋追肥N4（施肥日①）	97		
					硫黄被覆＋追肥N4（施肥日②）	98		

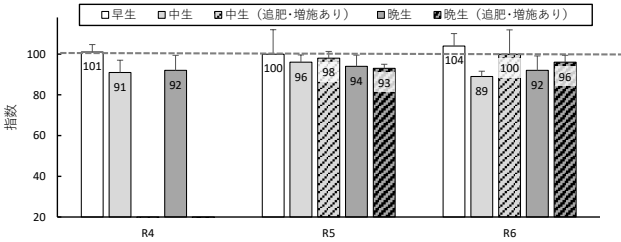


図 実証区の精玄米重（対照区を100とする指数）

表 実証区の精玄米重（指数）

実証区	R4	R5	R6
早生	101	100	104
中生	91	96	89
中生（追肥・増施あり）	-	98	100
晩生	92	94	92
晩生（追肥・増施あり）	-	93	96

結果の概要

- ・プラスチックを用いた従来の被覆肥料（対照区）に、硫黄被覆肥料やウレアホルム（UF）入り化成肥料等の代替肥料や鶏ふん及び緑肥等を用いた場合の収量性を示した。
 - ・早生品種では実証によって結果は異なるが3か年ともに収量指数100以上であり、代替肥料でも同等の収量確保が可能。
 - ・中生品種では92（3か年の平均）と収量がやや低下するが、穂肥追肥や基肥を増施することで同等の収量確保が可能。
 - ・晩生品種では93（3か年の平均）と収量が低下する。基肥増施や追肥をしても平均93(R5)であり、対照と同等の収量確保に至らないが、穂肥の量や時期によっては、平均96(R6)となり同等の収量確保が可能。
- ※本結果は3か年の実証結果であることに留意する。